

患者さまへ
研究課題名「変形性脊椎症が腰椎骨密度に及ぼす影響について」

この研究は通常の診療で得られた記録を使って行われます。
このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2018年1月から2022年3月までに当院で骨密度検査、CT検査を受けられ、脆弱性骨折と診断された患者さま
2 研究目的・方法	<p>腰椎2重エックス線吸収法(DXA法)は骨密度の若年成人平均値との比較測定に一般的に使用される骨密度の検査方法ですが、変形性脊椎症や大動脈石灰化が結果に影響を及ぼす可能性があります。そのため、整形外科外来では、腰椎DXAだけでなく、変形性脊椎症や大動脈石灰化の影響を受けにくいと考えられる大腿骨頸部DXAの両方を行うことが標準的となりつつあります。今回、すでに得られている診療録の情報等から腰椎のCT画像を用いて変形性脊椎症を分析し、腰椎DXA法による骨密度の若年成人平均値との比較測定に及ぼす影響を検討することで、腰椎DXA法だけの骨密度測定が可能か確認します。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年8月予定)後~2026年3月</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、レントゲン画像、骨密度、CT画像など
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 大垣徳洲会病院 住所:大垣市林町6丁目85-1 研究責任者:リハビリテーション科部長 藤岡克博 電話: 0584-77-6110</p>

2024年7月10日作成(第1版)